

フクシマ環境未来基地

平成26年度

平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日



事業報告書



ミッション

- 1) 若者の力で、環境問題、地域の抱える課題を解決していく
- 2) 社会貢献を通じ、次の地域・社会を担う若者をはぐくむ
- 3) 地域の価値や人のつながりを再生し、市民の手による新しい社会をつくる

団体概要

《 団体の概要 》

名称 フクシマ環境未来基地

住所 〒970-1376 福島県いわき市三和町下三坂字永久保40

TEL/FAX 0246-85-2777

MAIL fukushima@conservation-corps.jp

URL <http://fukushima-c-c.jimdo.com/>

○形態 任意団体

○設立 2011年5月10日 事務所開設 8月

○職員

非常勤 3名

会員 一般会員 団体会員 協力会員



設立の経緯

平成23年3月11日に起こった東日本大震災により、甚大な被害が発生しました。栃木県で環境保全に取り組む、NPO法人トチギ環境未来基地でも、復旧、復興、そしてその先の新しい社会づくりに向けて、NPOは何ができるのかを話し合い、具体的な活動を始めました。

長期的に活動を継続していけるように、活動先を福島県いわき市に決めました。

トチギ環境未来基地の、若者の力を引き出すこと、チームによる長期間のプログラムを実施するノウハウをもとに、いわき市に根ざした活動団体を設立することとなりました。



平成25年度の主なニュース

① インターンの栗田みなみさんが大活躍

立命館大学を休学し、フクシマ環境未来基地に住み込みでインターンをしている栗田みなみさん、今年度も大活躍でした。新しいねこのてプロジェクトの立ち上げやクリーンクリーンキャンペーンの企画運営、そして地元の人たちとの交流と幅広い活躍をしてくれました！

② クリーンクリーンキャンペーンスタート。海岸通りがきれいになりました

海岸通りのゴミ拾いを、いわき市に避難している方々とも協力しながら進めるクリーンクリーンプロジェクトがスタートしました。車で通るとあまり気づかないところにもたくさんのゴミが落ちていました。200人を超えるボランティアのみなさんと清掃活動を行い、すこしきれいにすることができました。参加者同士の交流も深まりました。

③ 三和町下三坂地区の福寿草祭り再開！

フクシマ環境未来基地の事務所のある三和町下三坂地区で長年行われていた福寿草祭りですが、震災後担い手不足などが理由で開催が見送られてきました。ですが、今年度私たちも協力する形で復活、3年ぶりの開催ができました。当日は福寿草を見に多くの方が訪れてくれました。

活動実績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

活動日数 88日 **参加者数 1,536人／日**

※NPO法人トチギ環境未来基地との共催事業である、海岸林再生活動参加者含む

事業

ボランティアツアー運営
各種ボランティア受入れ
海岸通りの清掃と交流活動 クリーンクリーンキャンペーンの開催
地域の行事参加
避難者の生活の困りごとを解決する御用聞きプロジェクト「ねこのて」
海岸林の整備作業

※トチギ環境未来基地、いわきの森に親しむ会と共に)

助成

今年度は次の助成をいただきました。

赤い羽根共同募金ボラサポ

(クリーンクリーンキャンペーンへの助成)



クリーンクリーンキャンペーンの開催



218人のボランティアのみなさんと交流をしながら清掃活動をしました。

福島県いわき市では原発事故の影響で主に双葉郡から24,000人を超える方々が避難生活を送られています。時間の経過とともに急な人口増加が日常生活における様々なストレスにもなりはじめ、いわき市民といわき市で避難生活をおくる人たちとの間に軋轢が生じてしまっています。誤解が摩擦を生んでいると思われることも多く、なんとかお互いに友好関係を築いていけるように様々な出会いと交流の機会が必要となっています。私たちは誰でもできる「清掃ボランティア活動」をその出会いと交流の機会として生かしていけたらいいと考え活動を始めました。ボランティア活動を通じて一緒に汗を流すなかで、体を動かしながら自然に会話もできるような機会になるように活動しました。また、いわき市の海岸沿いの道路にはいまも多くのごみがある場所もあり、きれいにするというのも大切な活動の要素です。これらを組み合わせて、清掃活動と交流の機会を実施しました。



まずは海岸沿いのごみマップを作成し、道路の安全性なども考慮しながら清掃活動計画をまとめました。そして、多くの人たちにご参加いただけるようにチラシの作成や広報に力を入れました。

天候が原因で中止になってしまった会もありましたが、平均月2回、年間24回の清掃活動を行いました。若者からベテランの方まで幅広い年代の方に活動に参加していただくことができました。いわき市に避難されているグループの方々の活動も実施でき、いろいろな話をする機会にもなりました。いわき市に避難している方々のグループでは、「自分たちでも何かお世話になっているいわき市のためにできないか、ということをよく考えたりするんだけどなかなか自分たちだけではきっかけを作るのが難しく」という声もありましたので、この活動がそのきっかけに少しなれたと思います。



御用聞きプロジェクト・・・「ねこのて」



2014年5月から、新規事業として御用聞きチーム「ねこのて」をスタートしました。御用聞きとは、お宅を訪問して生活上の困りごとに対応するサービスです。いわき市内で避難生活を送っている方を対象に、ボランティアの力で生活の困りごとを解決し、暮らしをサポートをしていきます。

どうして御用聞きが必要なの？

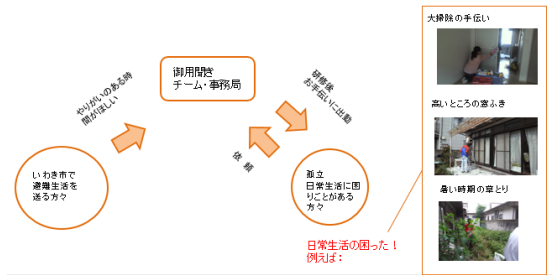
原発事故の影響により、いわき市には約2万4千人もの人が原発避難しており、震災から3年余りが経過した現在もお困難な生活を余儀なくされています。

さらに、仮設住宅等に暮らす人は周辺地域との繋がりが希薄で孤立した生活を送る人も少なくありません。

この事業では、孤立して避難生活を送る人を対象に、日常生活の困りごとをボランティアの力で解決していく仕組み作りを目指しています。

また、困りごとを解決するボランティアチームもいわき市内で避難生活を送る人を中心に組織しています。

避難生活を送る人の中には生活の張りや生きがいを求めている人も多く、御用聞きスタッフとして働くことで、やりがいのある時間を得ることが可能になると考えています。



活動の様子(例)

11月1日 【換気扇のそうじ】

換気扇のそうじのおてつだいに出動しました。いっしょに作業していただいたので、コミュニケーションもばっちりとれました。

11月7日 【家具の運搬】

避難先の仮設住宅から元のおうちへ家具を運搬しました。大きい家具は重いし人でもいる作業なため、出動要請がありました。

いわき市 常磐地区・内郷地区・好間地区にお住まいの皆さん
ごま

お困りごと

ありませんか？

- 掃除をそろじしたいけど高いところが大変
- 買い物のしたいけどお店がとおい
- 病院通いがひとりでは不安
- 車の手入れが行き届かない
- パソコンの使い方がわからない

そんな皆さんの「困った～」を解消するために、
わたしたちがお手伝いいたします！
まずはお電話でご相談ください。

【営業日時】 毎週木曜日・金曜日（祝日除く）9:00～16:00
お電話は、月～金いつでも受け付けております

【対象地域】 いわき市 常磐地区・内郷地区・好間地区にお住まいの高齢ひとり暮らしの方、高齢のご夫婦の方、避難生活でお困りの方

【利用料金】 1時間 700円（作業の前後は移動にお乗りください）

フクシマ環境未来基地
御用聞きチーム「ねこのて」
フクシマ環境未来基地は、三和町を拠点に活動するNPOです。
活動後や受付センターでの活用活動にも行っています。

0246-85-2777
〒970-1376
福島県いわき市三和町下三坂字水久保 40

パンフレットを
作成しました



作業チームのユニフォームも
作りました

いわき市三和町下三坂でのボランティアツアー

昨年引き続き、いわき市下三坂地区でのボランティアツアーを開催しました。

不定期の開催となりましたが、季節ごとの必要な活動を行うことができました。また、お祭りのお手伝いなど新しい活動も生まれました。58人が参加してくださいました。



みんなで作った田んぼ。おいしいお米ができました



炭焼き体験もしました



福寿草祭りの運営手伝い。休憩時間にやっちき踊りをおしえてもらいました。若者も多数参加してくれました。



秋祭りの手伝い。屋台を手伝いました。



地区の運動会にも参加しました。

地域の中でも団体や活動の存在を知ってくださる人が増え、声をかけていただく機会が増えました。

若者たちも地域の人たちと様々な話をしたり活動と一緒にすることで学ぶことがたくさんあります。

次年度は木を生かした地域づくりに挑戦したいと考えています。

海岸林の再生に向けて 「苗木 for いわき」プロジェクト

NPO法人トチギ環境未来基地、NPO法人いわきの森に親しむ会との共同事業

趣旨

東日本大震災に伴う津波により、いわき市四倉～沼の内のクロマツの海岸林も大きな被害を受けました。美しい景観と、海岸林本来の機能を取り戻すために、クロマツを植林していく必要があります。市民の力で海岸林の再生をすすめるプロジェクトです。

平成26年は、1,260人が活動してくださいました。



これからの時代を担っていく子どもたちも積極的に活動に参加してくれています



整備をして



クロマツの苗木を植林します



【参加者の感想】

暑い日の参加で最後まで活動できるか心配でしたが、たくさんのボランティアの皆さんと一緒に作業でしたのでやりきることができました。重い木を運んだり普段あまり使わない体を思い切り使ったので疲れましたが、整備したところが見違えるほどきれいになりうれしかったです。

私たちにもまだできることがあるということを実感できて良かったです。また参加したいと思います。

フクシマ環境未来基地 平成26年度 事業報告書

平成27年4月22日発行

編集・発行 フクシマ環境未来基地 事務局
発行責任者 塚本 竜也
連絡先 〒970-1376 福島県いわき市三和町下三坂字永久保40

TEL/FAX 0246-85-2777

MAIL : fukushima@conservation-corps.jp

URL : <http://fukushima-c-c.jimdo.com/>